

2020年度

アドミッションズ・オフィス(AO) 入学試験要項

現代ビジネス学部

現代ビジネス学科

教育学部

教育学科

幼児教育専攻 児童教育専攻 健康教育専攻

生活科学部

生活文化デザイン学科

学芸学部

日本文学科 英文学科 人間文化学科 心理行動科学科 音楽科



宮城学院女子大学

Contents

募集定員、選考スケジュール	01
アドミッション・ポリシー	02
一次選考について	04
提出課題の内容および学科別の要件等	06
二次選考について	08
音楽科専門試験要項	10

激甚災害に係る入学検定料免除の特別措置について

本学では、激甚災害(東日本大震災 他)の被害を受けた方で本学を志願されている方に対し、入学検定料免除措置を行います。

詳細については、本学ホームページにてご確認ください。

《お知らせ》学業特待生の選抜対象について

2020年度入試より、AO入試・推薦入試合格者が大学入試センター試験を受験し、所定の成績をおさめた場合に学業特待生候補者の対象とします。その場合は、当該学科への合格を確保したものとし、別途審査料を支払って、特待生申請手続きをしていただきます。

なお、大学入試センター試験では、本学の大学入試センター試験利用入試(A日程)において入学予定の学科が指定している科目を満たすように受験してください。

また、特待生枠には限りがありますので、申請をしても必ずしも認められるわけではありません。

申請手続き方法・申請書類などの詳細は、9月上旬に本学ホームページに掲載します。

募集定員

現代ビジネス学部 現代ビジネス学科(7名)

教育学部 教育学科 幼児教育専攻(7名)、児童教育専攻(5名)、健康教育専攻(5名)

生活科学部 生活文化デザイン学科(5名)

学芸学部 日本文学科(7名)、英文学科(5名)、人間文化学科(5名)、心理行動科学科(5名)、音楽科(4名)^{*}

※音楽科は器楽コース(ピアノ、オルガン、ヴァイオリン・ヴィオラ、チェロ、コントラバス、フルート、オーボエ、クラリネット、サクソフォーン、ファゴット、ホルン、トランペット、トロンボーン、ユーフォニアム、チューバ、打楽器)、声楽コース、作曲コースがあります。

選考の結果、学力等が本学の求める水準に満たないと判断される場合、合格者数が各入試区分の募集人員を下回る場合があります。

選考スケジュール

		日程	備考
一次選考	出願期間	2019年8月8日(木)～8月20日(火)必着	志願理由書／調査書／提出課題 等 入学検定料(一次選考):無料
	実施期間	2019年8月27日(火)～8月29日(木)	受験生ごとに日時が異なります。出願受付後、個別にお知らせします 試験場:本学
	結果通知	2019年8月31日(土)(予定)	本人宛に速達郵便で結果を発送します
二次選考	出願期間	2019年9月2日(月)～9月6日(金)必着	一次選考を通過した方はこの期間に二次選考の出願手続きをしてください 入学検定料(二次選考):30,000円
	選考日	2019年9月11日(水)	試験場:本学
合格発表		2019年9月19日(木)13:30(予定)	発表日当日、高等学校長および本人宛に速達郵便で結果を発送します
入学手続		2019年9月24日(火)～9月30日(月)	「入学時納付金(p16参照)」を銀行振込で一括納入してください

合格までの流れ

出願	<p>本学所定の「志願理由書」および「調査書」「提出課題」「資格取得を証明する書類のコピー」「音楽科専門試験曲目届出票(音楽科受験者のみ)」等</p> <p>書類審査(審査の結果によっては一次選考の受験を認めない場合もあります)</p>
一次選考日時の通知	<p>通知書は8/22(木)発送予定</p>
一次選考の実施	<p>選考方法は学科によって異なります ※詳細はp5を参照</p>
一次選考結果通知	<p>選考結果を受験生全員に通知します</p>
二次選考出願	<p>Web出願システムでの出願および入学検定料の振込等</p>
二次選考の実施	<p>選考方法は学科によって異なります ※詳細はp9を参照</p> <p>一次選考と二次選考の結果を総合的に判断して決定します</p>
結果通知	<p>最終結果を本人および高等学校長へ通知します</p>

宮城学院女子大学では、本学で勉学することを強く希望する方を対象に、アドミッションズ・オフィス(AO)入試を実施します。
 この入試では、本学および各学科のアドミッション・ポリシーをよく理解し、学科が求める学生像に当てはまる方、自己表現力やコミュニケーション能力、プレゼンテーション能力に秀でた方、高等学校でのクラブ活動やボランティア活動、その他の社会的活動に積極的に取り組み、学科での学びを活性化しうる方を求めます。
 本学のアドミッション・ポリシーと各学科が求める学生像を十分に理解した上で、出願してください。

宮城学院女子大学 アドミッション・ポリシー

本学は、次のような能力、意欲、目的意識などをもつ者を広く受け入れます。

1. 本学の学修に必要な基礎学力(基礎知識、思考力、判断力、表現力)を持っている。
2. 本学の教育方針をよく理解し、学習意欲を強く持っている。
3. 地域社会や人類全体の福祉に貢献することに意欲がある。
4. 何かに打ち込んだ経験、何かをやり遂げた経験を持ち、そのことをアピールできる。

現代ビジネス学部

◆現代ビジネス学科アドミッション・ポリシー◆

1. 本学科の特質である**観光、国際、地域**といった実践の場で活躍したいという意欲がある。
2. ビジネス学の基礎である、経営学やマーケティング、商品流通、経済学、会計学、情報処理を学ぶ意欲がある。
3. ビジネスの場面で使用できる英語を修得し、さまざまなビジネス・シーンで活かす目的意識を持っている。
4. さまざまな社会現象や社会問題に対してビジネス学を通して考察し、具体的提案をする意欲がある。

<AO入試で求める学生像>

- 「観光」「国際」「地域」の〈場〉で、地域の資源を活用した企画を考える意欲を持っている方
- 自分が考えた企画を他の人が理解できるように伝えられる方

教育学部

◆教育学科 幼児教育専攻アドミッション・ポリシー◆

1. 教育学や保育学の専門的な学びを修めるための基礎的な学力と社会の課題に向き合いその解決に寄与しようとする意欲を持っている。
2. 一人ひとりの子どもに対して丁寧に向き合い、子どもの健やかな成長・発達を支援する意欲と情熱を持っている。
3. 人を支援する専門職であることから、さまざまな場面で人と関わることに積極的である。

◆教育学科 児童教育専攻アドミッション・ポリシー◆

1. 幅広い教養と教科に関する高い専門性を修めるための基礎的な学力と教育のスペシャリストをめざそうとする目的意識を持っている。
2. 子ども的人格形成に影響を及ぼす教育という営みを探求することに強い関心を持っている。
3. 子どもが主体的・協働的に学ぶ授業を展開できる実践的指導力を身につけようとする意欲を持っている。

◆教育学科 健康教育専攻アドミッション・ポリシー◆

1. 健康諸科学に関する専門的な知識や技能、教師としての知識や技能を学び身につけるための基礎的な学力を有している。
2. 教育という、人の成長発達を支える営み、仕事に強い関心を持っている。
3. 今日の子どもたちの抱える多様な健康課題に取り組み、子どもたちの健やかな成長と発達に寄り添っていく意欲と情熱を持っている。

<AO入試で求める学生像>

- 将来、学校教育や児童福祉の分野で地域に貢献することを目指している方
- 人にかかわることが好きで、子どもたちの心身の発達と成長に関心を持っている方
- 子どもに関する分野を専門的に学んでみたい方

生活科学部

◆生活文化デザイン学科アドミッション・ポリシー◆

1. 地歴公民、理科、数学など幅広い興味を持って勉学に励んでいる。
2. 家族・生活経済・衣食住など生活文化に対する関心と問題意識を有している。
3. 建築・インテリアなど生活環境デザインに対する関心と問題意識を有している。
4. 大学における講義内容を整理し、自身の考察を加え適切な文章で表現できる。

<AO入試で求める学生像>

- 教員、建築士、公務員、企業における生活に関わるデザイン、知識、情報、サービス等を提供する仕事を目指している方
- 生活について幅広い関心を持ち、特に女性、家族と社会、生活経済、服飾、建築、インテリアなどの分野のいずれかを深く学びたい方
- 生活を多面的にとらえ総合的に考える力、上記いずれかの分野の専門知識と、提案力＝デザイン力を身につけたい方

学芸学部

◆日本文学科アドミッション・ポリシー◆

1. **国語に関心がある。**読書を好み、文章を書くことに興味がある。適切で的確な日本語運用能力を身につける意欲がある。
2. 日本語や文学・演劇・映画等、**日本のことばと文化**に興味を持ち、これらに関する専門的で体系的な知識を修得する意欲がある。
3. 教員・司書・編集者等、**日本のことばと文化**に関する専門性を活かした職業に就き、社会の発展と文化の向上に貢献する意欲がある。

<AO入試で求める学生像>

- 中高国語科教員、図書館司書、日本語教員、編集者・ライターなど、日本のことばと文化に関する専門職を目指している方
- 日本語、日本文学、日本文化、あるいは日本人の思想・価値観・美意識などに強い関心があり、専門的で体系的な知識を修得したいと考えている方
- 読み、書き、話し、聞くことに関して、適切で的確な日本語力を身につけたいと考えている方

◆英文学科アドミッション・ポリシー◆

1. 英語に対する強い関心と興味を持ち、英語でコミュニケーションを図ろうとする意欲があり、英語運用能力を高めたいと考えている。
2. 英語学や英米文学・文化を専門的に学ぶことにより、国際社会で必要とされる客観的かつ複眼的な視点を身につけたいと考えている。
3. 自分の考えを英語で発信しながら自分と異なる価値観を持つ人と積極的に交流し、日本と外国との架け橋になることをめざしている。

<AO入試で求める学生像>

- 英語圏の言語・文学・文化に対し強い探究心を持っている方
- 高度な英語運用能力を身につけ、幅広い視野をもって、社会でリーダーシップを発揮したいと考えている方
- 様々な分野で、日本と海外をつなぐ職業に就きたいと考えている方

◆人間文化学科アドミッション・ポリシー◆

1. 日本やアジア、ヨーロッパの歴史、文化、社会に関心を持っている。
2. 問題を発見し解決する能力、情報発信力、コミュニケーション能力を身につけたいと考えている。
3. NGOや国際機関など、国際舞台で活躍したいという意欲を持っている。
4. 教員(地理歴史／公民／社会)や学芸員になりたいという目的と意欲を持っている。

<AO入試で求める学生像>

- 教員や学芸員になりたい、国際舞台で活躍したいという意欲を持っている方
- 日本やアジア、ヨーロッパなど世界の歴史・文化・社会に強い探究心を持っている方
- 問題を発見して解決する能力、情報を発信する能力、コミュニケーション能力を身につけたいと考えている方

◆心理行動科学科アドミッション・ポリシー◆

1. 人間の心や行動に関心を持ち、それらを客観的に考える力、的確に表現する力を獲得する意欲がある。
2. 実証と実践に重点を置いて心理学を学び、自ら積極的に知識や経験を積み上げる意欲がある。
3. 高校における文科系・理科系等の選択に関わらず、専門的に心理学を学ぶことに意欲がある。

<AO入試で求める学生像>

- スポーツ、音楽または経済・経営活動、生徒会役員などの活動などに打ち込んだ経験あるいは一定の実績を持つ方
- 人間の心理や行動について、自分の経験を通じた興味や疑問をもつ方
- 実践を重視した学修成果を様々な企業で役に立たせたい方。また、大学院進学や心理学の専門職に就きたいと考えている方

◆音楽科アドミッション・ポリシー◆

1. 実技の練習に毎日、こつこつと取り組むことができる。
2. 音楽の実践的・理論的基礎を学ぶ根気と意欲を持っている。
3. 好きな音楽を専門的に学び、その成果を社会の中で活かす意欲を持っている。
4. 将来、音楽についての技術・知識を活かせる仕事に就きたいと考えている。

<AO入試で求める学生像>

- 演奏家になろうという強い意欲を持っている方
- 中学校・高等学校の音楽の教員になろうという強い意欲を持っている方
- 音楽教室の指導者など、音楽についての技術・知識を活かせる仕事に就きたいと考えている方

出願資格

次のいずれかに該当する女子で、合格の際には本学(志願学科)への入学が確実な方とします。

- ①高等学校を卒業した方および2020年3月卒業見込みの方。
- ②通常の課程による12年の学校教育を修了した方および2020年3月修了見込みの方。
- ③学校教育法施行規則第150条の規定により、高等学校を卒業した方と同等以上の学力があると認められる方および2020年3月31日までにこれに該当する見込みの方。

※英文学科においては、英検2級程度の英語能力を有していることが望ましい。

※心理行動科学科へ出願する場合は、p6~7にある当該学科が求める要件に当てはまることを必ず確認すること。

※音楽科においては、基礎的な楽典の知識と視唱・聴音の能力を身につけていることが望ましい。

一次選考について

- (1)一次選考出願期間：2019年8月8日(木)~8月20日(火)必着
- (2)入学検定料：無料
- (3)出願書類(所定の様式は本学ホームページからダウンロードしてください。)

書類	注意事項
①志願理由書	本学ホームページから所定の様式をダウンロードし、A4判で印刷して、必ず本人が自筆(黒のボールペン)で記入してください。
②写真 (縦4cm×横3cm 1枚)	白黒・カラーとも可。出願日前3ヶ月以内に撮影し、正面を向いて上半身無帽のもの。写真裏面に高校名と氏名を記入し、志願理由書に貼付してください。選考の際に眼鏡をかける方は、眼鏡をかけて撮影してください。
③資格取得を証明する書類のコピー	英語検定、TOEIC、TOEFL、GTECスコア、漢字検定、日本語文章能力検定、簿記検定など、資格等を取得し、そのことを志願理由書に記入した場合は、その資格を証明できるものをA4判の用紙にコピーして提出してください。
④調査書または出願資格を証明する書類	<ul style="list-style-type: none">●高等学校卒業者(見込み者)および高等専門学校第3学年修了者(見込み者)の場合は「調査書」。(出願日前3ヶ月以内に作成され、交付元で厳封したもの)●大学入学資格検定合格者の場合は、「合格成績証明書」。●高等学校卒業程度認定試験合格者の場合は、「合格成績証明書」、合格見込み者の場合は成績が記載された「合格見込成績証明書」。●外国において12年の課程を修了した方については「修了証明書」と「成績証明書」。 ※上記に該当しない方は本学入試課へお問い合わせください。
⑤提出課題 (現代ビジネス学科、英文学科、音楽科を除く)	課題の内容はp6~7を参照してください。課題提出用所定様式は、本学ホームページからダウンロードし、A4判で印刷してください。 ダウンロードできない場合は、本学入試課までご連絡ください。
⑥音楽科専門試験にかかわる書類 (音楽科のみ)	音楽科に出願する方は、本学ホームページから「音楽科専門試験曲目届出票」をダウンロードし、演奏する曲全体の楽譜のコピーを添付して提出してください。 また、声楽コースを志願する場合は、曲全体の楽譜のコピーのほかに、伴奏用楽譜を提出してください(詳細はp15参照)。 作曲コースの提出課題については、p14を参照してください。

提出物は、市販の角2サイズの封筒に入れ、封筒の表に宛名ラベル(本学ホームページからダウンロード)を貼り、必ず簡易書留で提出してください。事情により調査書等が提出できない場合は、本学入試課までご連絡ください。

(4)一次選考日：2019年8月27日(火)～8月29日(木)

受験生ごとに選考日時が異なります。ただし、論述試験を課す学科については8月27日(火)に実施します。詳しい日時については、一次選考日通知書(8月22日(木)発送予定)にてお知らせします。8月24日(土)までに通知等が届かない場合は、本学入試課までお問い合わせください。

なお、一次選考のために高等学校での授業を欠席しなければならない場合は、その旨を学校に連絡し、許可を受けてから受験してください。

(5)選考方法

学科	一次選考	
	選考方法	備考
現代ビジネス学科	<ul style="list-style-type: none"> ●書類選考 ●論述試験 ●グループ面接(論述試験に関する質疑応答を含む) 	論述試験 60分 グループ面接 20分
教育学科 幼児教育専攻 児童教育専攻 健康教育専攻	<ul style="list-style-type: none"> ●書類選考 ●課題提出 ●提出課題についてのプレゼンテーション(注1) 	選考は一人20～30分程度
生活文化デザイン学科	<ul style="list-style-type: none"> ●書類選考 ●課題提出 ●面接(注2) 	
日本文学科	<ul style="list-style-type: none"> ●書類選考 ●課題提出 ●面接(古文の音読を含む)(注2) 	
英文学科	<ul style="list-style-type: none"> ●書類選考 ●英文を読み、日本語および英語による論述試験(注3) ●面接(英会話および英文の音読を含む) 	論述試験 60分 面接 15分程度
人間文化学科	<ul style="list-style-type: none"> ●書類選考 ●課題提出 ●面接(注2) 	選考は一人20～30分程度
心理行動科学科	<ul style="list-style-type: none"> ●書類選考 ●課題提出 ●提出課題についてのプレゼンテーション(注1) 	
音楽科	<ul style="list-style-type: none"> ●書類選考 ●音楽科専門試験(p10参照) ●面接 	面接 10～15分程度 専門試験の時間は専攻による

(注1)教育学科(各専攻)と心理行動科学科は、提出課題(自己推薦書)に基づくプレゼンテーションと質疑応答を行います。A3判1枚の「プレゼンテーション用資料」を作成し、受験番号と氏名を記入した**原本と原本の写し3部の計4部を必ず持参し、提出してください**。それ以外のもを持ち込むことはできません。選考の際は、原本をボードに掲示してそれを参照しながらプレゼンテーションを行ってください。プレゼンテーションの時間は10分間とします(10分を経過した場合は途中であっても打ち切ります)。続いて、主としてプレゼンテーションの内容に関する質疑応答を10分程度行います。

(注2)生活文化デザイン学科、日本文学科、人間文化学科の面接は、提出した課題に関する質疑応答を含むため、説明用の資料や作品等の持ち込みを認めます。

(注3)英和辞典使用可。ただし、電子辞書等は使用不可。

【評価方法】

一次選考は、志願理由書および提出された課題や選考内容を総合的に評価し、調査書は参考程度に扱います。

(6)一次選考結果通知：2019年8月31日(土)(発送予定)

一次選考の結果は受験生全員に郵送で通知します。

提出課題の内容および学科別の要件等

出願に必要な提出課題のテーマおよび要件等は以下のとおりです。

各学科とも提出課題は本学のホームページからダウンロードした所定様式を用い、注意事項をよく読んで作成してください。また、資料として用いた本や雑誌・新聞、ウェブサイト等がある場合は必ず出典を出典記入欄に明記してください。

学 科	課題・要件等
教育学科 幼児教育専攻 児童教育専攻 健康教育専攻	次の2つの点を踏まえ自己推薦書を作成しなさい。表現の方法は自由です。ただし、立体物を貼り付けることや指定の様式の大きさを変えることはできません。 ①これまで、あなたが影響を受けた先生をあげ、その方々からどういう影響を受けたか。 ②本学科入学後に、どのようなことについて学びを深めていきたいと考えているか。(その理由を含めること)
生活文化デザイン学科	①家族、流通と消費、衣食住などの生活の問題 ②生活と地球環境、文化、社会との関わりについての問題 ③建築・インテリアなど生活の中のデザインに関する問題 上記の中からいずれかを選択し、あなたが関心を持つ事柄についてテーマを設定して具体的に論述し、それに対するあなた自身の考察、あるいは提案を示しなさい。(1,600字以内)
日本文学科	日本語・日本文学あるいは日本文化に関する本で、あなたが感銘を受けたものを1冊選び、その内容を要約し、かつ、その本のどのようところに感銘を受けたのか、自分の言葉で書きなさい。(1,200字以内)
人間文化学科	次にあげたテーマの中から1つを選んで、それについて具体的に調べ、考えたことを述べなさい。(1,600字以内) ①「歴史を学んで何の役に立つの?」と問われたらあなたならどのように答えますか? また、学校で歴史を学ぶ意味は何だと思えますか? ②互いに異なる言語・習慣・価値観を持った人々が共に暮らす場合、どのような問題が生じると思えますか?あなた自身の体験を交え、解決策あるいは防止策とあわせて具体的に説明しなさい。
心理行動科学科	本学科のAO入試は、以下の(A)経験・実績と(B)意欲の両方を満たす方が応募できます。 (A)高校3年間において、心理学の学びにつながる諸活動(スポーツ、音楽、経済・経営、生徒会等の役員、ボランティア、アルバイト、その他)を継続的に活動していた方 (B)Aの活動を通して、人間の心理や行動について興味や疑問を持ったことで、それらを大学で心理学の観点から学びたい方 上記の要件を確認したうえで、次の3点について詳細に記した「自己推薦書」を作成しなさい。表現の方法は自由です。ただし、立体物を貼り付けること、指定の様式の大きさを変えることはできません。 ①スポーツ、音楽、経済・経営活動、生徒会等の役員、ボランティア、アルバイト、その他のいずれかについての経験・実績の具体的な内容。 ②本学科入学後に、①の経験に基づいてどのような学びにつなげていきたいと考えているか。 ③その他、アピールしたい点。 【対象となる活動の具体的なイメージ】 ■スポーツ活動の経験・実績に基づくイメージ ・高校ではチームスポーツの運動部に所属し、レギュラーとして活躍した。チームをチームとして機能させる重要性を強く感じたので、集団の協調に興味がある。 ・大学では新しいスポーツを行いたい。高校で行った競技を続ける人と辞めた人の違いをいろいろな視点で比較してみたい。 ・高校の運動部でマネジャーとして、選手の活動を支えてきた。マネジャーの役割について、心理的な側面から調べてみたい。 ■音楽活動の経験・実績に基づくイメージ ・コンピュータの音楽に興味があり、仲間と作品を作っている。面白いリズムとつまらないリズムの違いに興味がある。 ・中学のころからバンドでボーカルを担当している。ボーカルには“ノリのよさ”が重要だと言われたことがあり自分もそう思うが、そもそも“ノリのよさ”とはどのような心理なのかを知りたい。 ・中学高校と吹奏楽を続けてきたが、コンクールなどのステージであがってしまう経験をした。あがらないようにするにはどうすればよいのか調べてみたい。

心理行動科学科

■経済・経営活動の経験・実績に基づくイメージ

- 親戚が経営しているお店のホームページを作ったが、効果があるのかわからない。どうしたら効果の有無がわかり、どうしたら効果を上げられるのか勉強したい。
- 友人たちとフリーマーケットに出店してきた。何度も出店するうちに、売り上げのコツがわかってきた気がするが、それを心理学的に研究して検証してみたい。
- 高校の文化祭で実行委員を務めたが、来場者数や模擬店の売り上げと天候に関係があるように感じた。このような現象を統計的に分析する手法を学びたい。

■生徒会等の役員の経験・実績に基づくイメージ

- 生徒会の役員で忙しかったことで、時間の使い方がうまくなったと言われる。忙しいときと暇なときとで人間の心理がどう変わるのか、それが行動に与える影響について勉強したい。
- 文化祭の役員を務め、プログラムのために広告取りをした。業種によって快く引き受けてくれるところと、そうでないところがある様な気がする。業種と広告の意識は関係があるのか、学びたい。
- 部活の会計担当を経験して、合宿などの多額なお金の管理を手伝っていた。大きなお金を扱うと、普段は大事に感じる数百円の価値が変わってしまう。お金の心理学について学びたい。

■ボランティアの経験・実績に基づくイメージ

- 発達障害の子どもと関わるボランティア活動を週1回程度、1年間続けてきた。その経験の中で、子どものためにも支援者の心理的サポートが重要だと感じたので、そういう勉強をしてみたい。
- 町内会の夏祭りに子どもの頃から関わっていて、近年は会場の警備を担当している。多くの人びとが集まる場所で安全にイベントを行う難しさを感じたので、人間の行動を学びたい。
- 地域清掃のボランティア活動に関わるようになった。これまでの活動で、ゴミが集まる場所には特徴があるように感じるが、それをきちんと分析して、ゴミのない社会を実現させたい。

■アルバイトの経験・実績に基づくイメージ

- 飲食店のアルバイト経験から、時間帯によってお客様の態度が違うように感じる。そのことについて心理学を学ぶことで科学的に解明してみたい。
- コンビニのアルバイト経験から、陳列する場所によって売れない商品が急に売れ始めたりすることを知った。場所だけで売上が変わってしまう人間の心理について学びたい。
- イベントスタッフのアルバイト経験から、群集の心理に興味を持った。ちょっとしたことで事故に繋がりがかねない危険性があり、群集心理を安全に誘導する方法を研究したい。

■その他の経験・実績に基づくイメージ

- 多くのテレビ番組のクイズ大会に参加した。本を読んだりして新たな知識を記憶する難しさも、本番で思いつき難しさも実感させられた。記憶の心理学について学んでみたい。
- カルタ部で活動したが、分かっているつもりでも身体が動かないことがある。頭が動け！と命令するのに身体が動かないのはなぜか。どうしたら動くようになるのか。心理学的に学びたい。
- 書道部で活動する中で、字には書き手の性格が現れると感じた。手書き文字と性格の関係について心理学で研究がされていると知り、深く学んでみたくなった。

現代ビジネス学科の一次選考論述試験について

学 科	内 容
現代ビジネス学科	観光および地域産業にかかわる資料を受験生に提示し、論述試験を行う。

二次選考について

二次選考はWeb出願システムを利用して出願してください。

登録期間内に本学ホームページからWeb出願システムにアクセスし、マイページを作成の上、必要事項を入力して志願票などを出力してください。

(1) 二次選考出願期間：2019年9月2日(月)～9月6日(金)必着
(Web出願システムでの登録は9月1日(日)～9月5日(木)17:00まで)

(2) 入学検定料：30,000円
Web出願システム上で、コンビニエンスストアでの払い込みまたはクレジットカード決済等が利用できます。

(3) 出願書類
いずれもWeb出願システムから出力してください。

書類	注意事項
入学志願票(A票)	・出力した内容に訂正がある場合は、二重線を引いて訂正してください。
入学志願票(B票)	・指定枠内に4cm×3cmの証明写真を貼付してください。(条件は一次選考と同じです) ・コンビニエンスストアで検定料を納入した場合は、「収納証明書」を指定枠内に貼付してください。
宛名ラベル	・出力した宛名ラベルを市販の角2サイズの封筒に貼り、入学志願票(A・B票)を入れて必ず 簡易書留 で郵送してください。

※Web出願システムでの登録と書類の郵送をもって出願完了となります。

(4) 受験票について

願書受付後、二次選考受験票を発送します。9月9日(月)までに届かない場合は、必ず本学入試課までお問い合わせください。

(5) 選考日：2019年9月11日(水)

時間等の詳細については、受験票に同封する「受験案内」で確認してください。

(6)選考方法

学科	二次選考	
	選考方法	備考
現代ビジネス学科	<ul style="list-style-type: none"> 一次選考後に提示する観光および地域産業にかかわるテーマについてのプレゼンテーション(注4)と質疑応答および面接 	選考は一人20～30分程度 ※プレゼンの時間は10～15分程度
教育学科 幼児教育専攻 児童教育専攻 健康教育専攻	<ul style="list-style-type: none"> 小論文(600字程度) 面接 	小論文 60分 面接 15～20分程度
生活文化デザイン学科	<ul style="list-style-type: none"> 講義を聴講し、所定形式のノートを提出(注5) 	全体で60分程度
日本文学科	<ul style="list-style-type: none"> 講義(注6)を聴講後、論述試験 面接(古文の音読を含む) 	講義・試験 90分 面接 20～30分程度
英文学科	<ul style="list-style-type: none"> 面接(英会話を含む) 	面接 15～20分程度
人間文化学科	<ul style="list-style-type: none"> 一次選考時に提出した課題についてのプレゼンテーションと質疑応答および面接(注7) 	選考は一人20～30分程度 ※プレゼンの時間は10～15分程度
心理行動科学科	<ul style="list-style-type: none"> 一次選考の内容に基づいた新たな課題についての質疑応答(注8) 	選考は一人20～30分程度
音楽科	<ul style="list-style-type: none"> 音楽科専門試験(p11参照) 面接 	面接 15～20分程度 専門試験の時間は専攻による

(注4)現代ビジネス学科のプレゼンテーションは、パソコンまたはポスターなど(サイズ・枚数は自由)を用いて行ってください。なお、パソコンを使用する場合は、持参してください。(プロジェクター、スクリーンは本学で準備します)

(注5)生活文化デザイン学科の「ノート」の形式は、本学ホームページ上に掲載しています。

(注6)日本文学科の講義テーマは、一次選考日通知書に同封してお知らせします。

(注7)人間文化学科のプレゼンテーションの方法は問いませんが、発表内容をA4用紙2枚程度にまとめたレジュメを4部持参してください。なお、パソコンを使用する場合は、持参してください。(プロジェクター、スクリーンは本学で準備します)

(注8)心理行動科学科の課題は、一次選考結果通知書に同封してお知らせします。

【評価方法】

最終的な合否については、一次選考・二次選考の結果を総合的に判断して決定します。

(7)合格発表：選考方法2019年9月19日(木)13:30(予定)

発表日当日、本人および高等学校長宛てに速達郵便で「選考結果通知書」を発送します。

合否については、インターネットを利用した「合否発表システム」を利用して確認することもできます。

(利用方法は、受験票発送時に通知します)

(8)入学手続期間：2019年9月24日(火)～9月30日(月)

上記の期間内に「入学時納付金(p16参照)」を銀行窓口で一括納入してください。ATM(現金自動預け払い機)は使用しないでください。

入学手続の詳細については、「選考結果通知書」とともに送付する「入学手続要項」をご確認ください。

音楽科専門試験要項

一次選考・二次選考ともピアノ・オルガン専攻を志願する場合は「専攻実技」を、それ以外の専攻を志願する場合は「専攻実技」と「副科ピアノ」の両方を受験すること。

一次選考

専攻実技

器楽コース

ピアノ専攻

J. Haydn, W. A. Mozart, L. v. Beethovenの任意のソナタより
第1楽章または終楽章、あるいはロマン派以降の自由曲から1曲を選択し、演奏すること。
暗譜で演奏し、繰り返しは省略すること。

オルガン専攻

①②のいずれかを選択し、受験すること。

①パイプオルガンで受験する場合

自由曲：1曲

暗譜の必要はない。また、手鍵盤のみの作品でもよい。

②ピアノで受験する場合

J.S.Bach：平均律クラヴィーア曲集 第1巻、第2巻より1曲を選択し、プレリュード、フーガの両方を暗譜で演奏すること。

弦楽器〔ヴァイオリン・ヴィオラ〕専攻

ヴァイオリン専攻

(a) (b)いずれも暗譜のうえ、無伴奏で演奏すること。

(a) 小野アンナ「ヴァイオリン音階教本」、J. フリマリー「ヴァイオリン音階教本」、または Carl Flesch : Das Skalen-system für Violine より、下記(b)の自由曲と同じ調の、3オクターヴの音階と分散和音(スラーをつけて演奏すること。スラーのつけ方は自由とする)。

(b) 自由曲：1曲 繰り返しは省略すること。

ヴィオラ専攻

(a) (b)いずれも暗譜のうえ、無伴奏で演奏すること。

ヴィオラ専攻受験者はヴァイオリンでの受験も可。その場合は、ヴァイオリン専攻の課題曲(a) (b)を演奏すること。

(a) 下記(b)の自由曲と同じ調の、3オクターヴの音階(スラーをつけて演奏すること。スラーのつけ方は自由とする)。

(b) 自由曲：1曲 繰り返しは省略すること。

弦楽器〔チェロ〕専攻

(a) (b)いずれも暗譜のうえ、無伴奏で演奏すること。

(a) 下記(b)の自由曲と同じ調の3オクターヴの音階(スラーをつけて演奏すること。スラーのつけ方は自由とする)。

(b) 自由曲：1曲 繰り返しは省略すること。

弦楽器〔コントラバス〕専攻

(a) (b)いずれも暗譜のうえ、無伴奏で演奏すること。

(a) ト長調で2オクターヴの音階を以下の譜例の形で演奏すること。



(b) 自由曲：1曲 繰り返しは省略すること。

管楽器〔フルート〕専攻

(a) (b)を演奏すること。

(a) 「アルテスフルート奏法」第1巻(シンフォニア版)の127ページおよび128ページより、音階と分散和音(暗譜で演奏すること)。

長短全調の中より、当日指定する。テンポは♩=80~120とする。繰り返しは省略すること。

(b) 自由曲：1曲

無伴奏で演奏すること。暗譜の必要はない。繰り返しは省略すること。

管楽器〔オーボエ〕専攻

(a) (b)を演奏すること。

(a) 2オクターヴの音階(暗譜で演奏すること)。

長短全調の中より、当日指定する。短調は和声的短音階、旋律的短音階のどちらかを演奏してもよい。音域が高い場合は途中で折り返してもよい。

(b) 自由曲：1曲

無伴奏で演奏すること。暗譜の必要はない。繰り返しは省略すること。

管楽器〔クラリネット〕専攻

(a) (b)を演奏すること。

(a) Rolf Eichler: Scales for Clarinet 第1番をスラーで演奏すること(暗譜で演奏すること)。

長短全調の中より、当日指定する。

(b) 自由曲：1曲

無伴奏で演奏すること。暗譜の必要はない。繰り返しは省略すること。

管楽器〔サクソフォーン〕専攻

(a) (b)を演奏すること。

(a) 以下の譜例の形で音階(長音階と短音階)をスラーで演奏すること(暗譜で演奏すること)。

長短全調の中より、当日指定する。

短調は和声的短音階で演奏すること。

[譜例(Es-Durの場合)]



(b) 自由曲：1曲

無伴奏で演奏すること。暗譜の必要はない。繰り返しは省略すること。

管楽器〔ファゴット〕専攻

(a) (b)を演奏すること。

(a) 2オクターヴの音階をスラーで演奏すること(暗譜で演奏すること)。
長短全調の中より、当日指定する。短調は旋律的短音階で演奏すること。

(b) 自由曲：1曲

無伴奏で演奏すること。暗譜の必要はない。繰り返しは省略すること。

管楽器〔ホルン〕専攻

(a) (b)を演奏すること。

(a) 以下の譜例の形で音階(長音階と短音階)を演奏すること(暗譜で演奏すること)。

長調 As-Dur、A-Dur、B-Dur、C-Dur の中より、当日指定する。

短調 a-Moll、b-Moll、h-Moll、c-Moll の中より、当日指定する。

短調は和声的短音階、旋律的短音階より、当日指定する。

[譜例(B-Durの場合)]



(b) 自由曲：1曲

無伴奏で演奏すること。暗譜の必要はない。繰り返しは省略すること。

管楽器〔トランペット〕専攻

(a) (b)を演奏すること。

(a) 以下の譜例を参考にして、音階(長音階と短音階)を演奏すること(暗譜で演奏すること)。

F-Durとd-Moll、B-Durとg-Moll、Es-Durとc-Moll の中より、当日指定する。

短調は和声的短音階、旋律的短音階より、当日指定する。

音域が高い場合は途中で折り返してもよい。

[譜例(B-Durの場合)]



(b) 自由曲：1曲

無伴奏で演奏すること。暗譜の必要はない。繰り返しは省略すること。

管楽器〔トロンボーン〕専攻

(a) (b)を演奏すること。

(a) 以下の譜例を参考にして、音階(長音階と短音階)を演奏すること(暗譜で演奏すること)。

調号#2つまで、b4つまでの調より、当日指定する。

短調は旋律的短音階で演奏すること。

音域が高い場合は途中で折り返してもよい。

[譜例(B-Durの場合)]



(b) 自由曲：1曲

無伴奏で演奏すること。暗譜の必要はない。繰り返しは省略すること。

管楽器〔ユーフォニアム〕専攻

(a) (b)を演奏すること。

(a) 以下の譜例の形で音階（長音階と短音階）を演奏すること（暗譜で演奏すること）。

F-Dur と d-Moll、B-Dur と g-Moll、Es-Dur と c-Moll、As-Dur と f-Moll、C-Dur と a-Moll、
G-Dur と e-Moll の中より、当日指定する。

短調は和声的短音階、旋律的短音階のいずれかとする。

〔譜例(F-Durの場合)〕

♩ = 60

(b)自由曲：1曲

無伴奏で演奏すること。暗譜の必要はない。繰り返しは省略すること。

管楽器〔チューバ〕専攻

(a) (b)を演奏すること。

(a) 以下の譜例を参考にして音階（長音階と短音階）を演奏すること（暗譜で演奏すること）。

調号♯♭共に3つまでの調より、当日指定する。

短調は和声的短音階、旋律的短音階のいずれかとする。

音域が高い場合は途中で折り返してもよい。

〔譜例(F-Durの場合)〕

♩ = 70

(b)自由曲：1曲

無伴奏で演奏すること。暗譜の必要はない。繰り返しは省略すること。

打楽器専攻

④⑤のいずれかを選択し、受験すること。

④ マリンバのみで受験する場合

(a) (b)を演奏すること。

(a) 調号♭2つまでの長音階、および短音階から当日指定する。2オクターヴ上下行のかたちで2回演奏すること。
音型は自由とするが、短音階は1回目は和声的短音階、2回目は旋律的短音階で演奏すること。

(b) 自由曲：1曲

暗譜の必要はない。繰り返しは省略すること。

⑤ マリンバとそれ以外の楽器を用いて受験する場合

(a) (b) (c)を演奏すること。

(a) マリンバによる音階

調号♭2つまでの長音階、および短音階から当日指定する。2オクターヴ上下行のかたちで2回演奏すること。
音型は自由とするが、短音階は1回目は和声的短音階、2回目は旋律的短音階で演奏すること。

(b) 打楽器1つを用いた音楽表現

暗譜の必要はない。内容、使用楽器は自由だが、演奏時間は3分以内とする。教則本等からの抜粋でもよいが、
そうでない場合も〔例〕7つ打ち などのように課題内容が明確であれば可とする(課題は複数でもよい)。

(c) 小太鼓による1つ打ち・2つ打ち・ロール *pp* < *ff* > *pp*

■ 声楽コース

自由曲：1曲

暗譜のうえ、原語で歌うこと。

■ 作曲コース

出願時に、楽譜に書かれた自作の曲を課題として提出する。演奏時間は1分以上とし、編成は自由とする。
試験では、提出された曲についての口頭試問を行う。

副科ピアノ

■ 器楽コース・声楽コース

以下の作曲家によるソナチネ、またはソナタの中から1曲を選択し、第1楽章を演奏すること。

L. v. Beethoven, M. Clementi, A. Diabelli, J. L. Dussek, J. Haydn, F. Kuhlau, W. A. Mozart

暗譜で演奏し、繰り返しは省略すること。

■ 作曲コース

以下より1曲を選択し、演奏すること。

● J.S.Bach：2声のインヴェンション

● J.S.Bach：シンフォニア(3声のインヴェンション)

● J.S.Bach：平均律クラヴィーア曲集第1巻、第2巻よりフーガのみ

● J. Haydn, W. A. Mozart, L. v. Beethovenのソナタより任意の楽章

暗譜で演奏し、繰り返しは省略すること。

二次選考

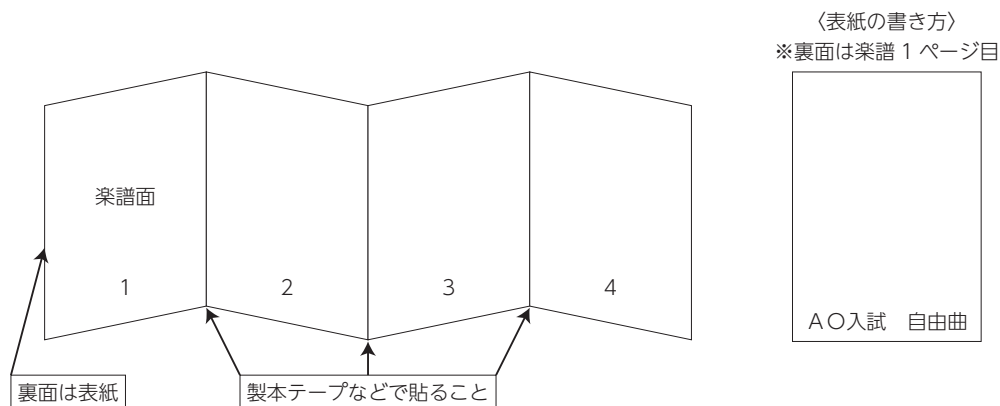
専攻実技	器楽コース 声楽コース	一次選考の「専攻実技」試験に関して、面接時の指摘をふまえて修正し、再度同じ課題曲を演奏すること。
	作曲コース	一次選考の口頭試問において指摘された点を修正した自作の曲の楽譜を、二次選考出願書類に同封して提出すること。
副科ピアノ	器楽コース 声楽コース 作曲コース	一次選考の「副科ピアノ」試験に関して、面接時の指摘をふまえて修正し、再度同じ課題曲を演奏すること。

楽譜の提出について

- 出願時に曲目届出票と演奏する曲全体の楽譜のコピーを添付すること。印刷が明瞭であれば、コピーのサイズ等は自由でよい(製本の必要はない)。
なお、打楽器専攻を⑥で受験する場合は、(b)の課題の楽譜のコピーを添付すること。
- 声楽コースを志願する場合は、曲全体の楽譜のコピーのほかに、伴奏用楽譜を添付すること。
(以下の方法にしたがって製本すること。)
- 作曲コースを志願する場合は、提出課題として、楽譜に書かれた自作の曲を提出すること。五線紙は市販のものを使用し、鮮明なコピーを製本して提出すること。原本は控えとして必ず保管しておくこと。

【声楽コースの伴奏用楽譜について】

- ①楽譜は1ページのサイズをA4版とし、コピーの鮮明な楽譜を提出すること。
- ②伴奏者が演奏しやすいよう、下記の図のように製本すること。
- ③提出する楽譜の1ページ目の裏面は表紙とし、氏名は記入せず、「AO入試 自由曲」と記入すること。



試験当日の使用楽器について

- オルガン専攻をパイプオルガンで受験する場合、本学のパイプオルガンで練習することができる。
- 弦楽器専攻、管楽器専攻を受験する場合、楽器を持参すること。
- 弦楽器専攻(ヴァイオリン・ヴィオラ)の「ヴィオラ」を受験する場合、ヴァイオリンでの受験も可とする。
- 弦楽器専攻(コントラバス)を受験する場合、本学のコントラバスを使用できる。希望する場合は、曲目届出票の該当欄に○印をつけること。
- 管楽器専攻(サクソフォーン)を受験する場合、アルトサクソフォーンで受験すること。
- 管楽器専攻(トロンボーン)を受験する場合、テナートロンボーンまたはバストロンボーンでの受験を可とする。
- 打楽器専攻を受験する場合、本学のマリンバを使用すること。
- 打楽器専攻を⑥で受験する場合、本学の小太鼓とティンパニを使用できる。希望する場合は、曲目届出票の該当欄に○印をつけること。それ以外の楽器を使用する場合は、当日各自で持参すること。

出願書類について

一次選考のための出願書類(本学所定様式)は全て本学ホームページ(<http://www.mgu.ac.jp/main/entrance/ao/index.html>)からダウンロードできます。

ダウンロードができない場合は、本学入試課までご連絡ください。

【ダウンロードできる出願書類】

- 志願理由書・宛名ラベル(全学科共通)
- 提出課題様式
- 音楽科専門試験曲目届出票

AO入試合格者に対する入学前学習課題について

本学では、AO入試合格者に対して、大学入学後の学習にスムーズに適應していただけるよう、入学前の準備教育として学習課題を課します。詳細は合格発表後に通知しますので、指定の期日までに取り組んでください。

なお、音楽科においては、所定の学習課題に取り組むほか、入学までに基礎的な楽典の知識と視唱・聴音の能力を身につけられるよう積極的に学習してください。

「早期合格者の集い」開催について

本学では、AO入試合格者および推薦入試合格者を対象に、「早期合格者の集い」を開催します。日程等の詳細は合格発表後に別途通知しますので、ぜひご参加ください。

その他

出願資格を取得見込みで受験した方が、その資格を満たせなかった場合は、合格を取り消します。

納付金

2020年度納付金に関しては「入学手続要項」に掲載いたします。

なお、2019年度の納付金は以下のとおりです。参考としてご覧ください。

【参考】2019年度納付金明細表

(単位:円)

科 目	現代ビジネス学部	教育学部	生活科学部		学芸学部					
	現代ビジネス学科	教育学科	食品栄養学科	生活文化デザイン学科	日本文学科	英文学科	人間文化学科	心理行動科学科	音楽科	
入学時納付金	入学金	240,000	240,000	240,000	240,000	240,000	240,000	240,000	240,000	330,000
	授業料	378,500	404,000	446,000	426,500	356,500	356,500	356,500	378,500	502,000
	演奏実技運営費									159,000
	実習料	15,000	6,000	8,500	20,000	12,000	12,000	12,000	30,000	7,500
	楽器使用料									17,500
	施設設備資金	95,000	95,000	103,000	102,000	91,500	91,500	91,500	95,000	126,500
	グループ研修費	12,000	3,000	2,300	1,500	2,000	3,500	12,000	10,800	1,300
	循環器等検査料	4,000	10,700	4,000	4,000	4,000	4,000	4,000	4,000	4,000
	大学後援会費	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000
	学友会費	3,500	3,500	3,500	3,500	3,500	3,500	3,500	3,500	3,500
学生会費	1,500	1,500	1,200	1,500	3,000	2,500	2,000	4,000	1,300	
学生災害掛金	3,300	3,300	3,370	3,300	3,300	3,300	3,300	3,300	3,300	
計	757,800	772,000	816,870	807,300	720,800	721,800	729,800	774,100	1,160,900	
後期納付金	授業料	378,500	404,000	446,000	426,500	356,500	356,500	356,500	378,500	502,000
	演奏実技運営費									159,000
	実習料	15,000	6,000	8,500			12,000			7,500
	楽器使用料									17,500
	施設設備資金	95,000	95,000	103,000	102,000	91,500	91,500	91,500	95,000	126,500
	大学後援会費	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000
計	493,500	510,000	562,500	533,500	453,000	465,000	453,000	478,500	817,500	
年額合計(一般)	1,251,300	1,282,000	1,379,370	1,340,800	1,173,800	1,186,800	1,182,800	1,252,600	1,978,400	

受験時特別配慮について

本学に入学を志願する方で、身体に障がいや疾病等があり、受験上の特別な配慮を必要とする場合は、出願前に必ず本学入試課にご相談の上、下記の通り申請してください。

ただし、希望の特別措置のすべてに対応できるとは限りません。

申請期限	AO入試一次選考出願開始日の1ヶ月前まで
申請方法	下記の書類を本学入試課までお送りください。 ・特別配慮願（本学所定/ホームページからダウンロードできます） ・障がい・疾病の状況がわかるものの写し（医師の診断書など） ・高等学校の所見（高等学校在籍者のみ）
問い合わせ先	宮城学院女子大学 入試課(022-279-5837)

なお、出願締め切り後、不慮の事故等のために受験上の特別な配慮が生じた場合は、あらかじめ本学入試課に連絡の上、速やかに申請書類を提出してください。

申請にあたって本学のキャンパス見学を希望する場合も、あらかじめご相談ください。

注意

- この申請内容は、受験上における特別配慮措置のために確認するものであり、試験の合否結果については一切関係しません。
- 修学上の配慮については、合格発表後にあらためてご相談ください。

学校保健安全法で出席の停止が定められている感染症に関する注意事項

入学試験当日、学校保健安全法で出席の停止が定められている感染症（インフルエンザ、麻疹等）に罹患し治癒していない場合は、他の受験生や監督者等への感染の恐れがあります。該当する症状がある場合は、必ず本学入試課までご連絡ください。

受験生ならびに保護者の皆様へ（個人情報保護について）

入学志願票および出願書類に記載された個人情報は、入学試験や入学後の学籍管理等教育運営に使用します。なお、個人情報を使用する際は取り扱いに十分注意し、目的以外には一切使用いたしません。

願書送付・問い合わせ先

〒981-8557 仙台市青葉区桜ヶ丘九丁目1番1号

宮城学院女子大学

入 試 課

<http://www.mgu.ac.jp/>
E-mail:nyushi@mgu.ac.jp
TEL.022(279)5837
FAX.022(279)5978

2019年6月